

2020 年度 事業計画書

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

2020 年度事業計画は新型コロナウイルス感染の拡大により、3 月に書面審議で承認いただいた当初計画から大きく変更を余儀なくされた。

大幅な減収が予想されており、いくつかの事業は休止もしくは先送りとした。

★以下変化点は赤文字で示す

I. 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクリススポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクリススポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクリススポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

II. 事業内容

1. 競技会

1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）は 13 大会予定していたが、6 大会が中止となり 7 大会となった。

2) 競技会公認・承認事業

- ・ 3 月～6 月の多くの大会は中止または延期となり、後半の競技会の日程調整を行った。
- ・ 昇格対象期間（従来 1 月～10 月）を 12 月末まで延長の措置をとった。
- ・ 本件に起因する大会中止に際しては公認料（保険料除く）を主催者に返却する措置をとった。

3) 主要競技会日程

(1) ロードレース

①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MFJ共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

当初計画	変更点	格式	大会名	会場
6月26日～28日	中止	国際選手権	アジア選手権ロードレース日本大会	鈴鹿サーキット
7月16日～19日	10月29日～11月1日	世界耐久選手権	1000km鈴鹿8時間耐久レース	鈴鹿サーキット
10月16日～18日	中止	世界選手権	M o t o G P 日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権

当初計画 (全7戦)		変更点	会場	開催方式 (◎は2レース制)				MFJ-C
				JSB	ST1000	ST600	GP3	JP250
4月 4- 5日	第1戦	中止	鈴鹿 2&4	◎				
4月 25-26日	第2戦	延期	もてぎ	◎	○	○	○	○
5月 23-24日	第3戦	延期	SUGO	◎	○	○	○	○
6月 20-21日	第4戦	中止	筑波		◎	◎	◎	◎
9月 5日-6日	第5戦		岡山国際	○	○	○	○	○
9月 19-20日	第6戦		オートポリス	◎	○	○	○	○
10月 31-11月 1日	第7戦	中止	鈴鹿 MFJ-GP	◎	○	○	○	○

●調整後のスケジュール (全4戦) ※5月末現在 ◎は1大会2レース

日程		会場	開催方式 (◎は2レース制)				MFJ-C
			JSB	ST1000	ST600	GP3	JP250
8月 9日-10日	第1戦	SUGO	◎	○	○	○	○
9月 5日-6日	第2戦	岡山国際	○	○	○	○	○
9月 19-20日	第3戦	オートポリス	◎	○	○	○	○
11月 14-15日	第4戦	もてぎ MFJGP	◎	○	○	○	○
レース数			7	4	4	4	4

(2) モトクロス

①全日本選手権

当初計画 (全8戦)		変更点	会場
第1戦 九州	4月 11-12日	中止	HSR 九州
第2戦 中国	4月 25-26日	延期	グリーンパーク弘楽園
第3戦 関東	5月 16-17日	延期	オフロドピレッジ
第4戦 SUGO	6月 6-7日	延期	スポーツランド SUGO
第5戦 東北	6月 27-28日	中止	藤沢スポーツランド
第6戦 近畿	9月 12-13日		名阪スポーツランド
第7戦 SUGO	10月 10-11日	日程変更	スポーツランド SUGO
第8戦 MFJGP	11月 14-15日		HSR 九州

●調整後のスケジュール (全6戦) ※5月末現在

	日程	会場	備考
第1戦	8月 29日 (土) ~30日 (日)	東北 スポーツランド SUGO	
第2戦	9月 12日 (土) ~13日 (日)	近畿 名阪スポーツランド	
第3戦	10月 3日 (土) ~4日 (日)	東北 スポーツランド SUGO	日程変更
第4戦	10月 31日 (土) ~11月 1日 (日)	検討中	
第5戦	11月 14日 (土) ~15日 (日)	第58回 MFJ-GPMX HSR 九州	
第6戦	11月 28日 (土) ~29日 (日)	関東 オフロドピレッジ	

②モトクロス全国大会 (MFJ共催。スポーツ庁後援・観光庁後援)

グリーンパーク・国内A/B級の全国選抜大会を中国地区 (グリーンパーク弘楽園) にて8月23日に開催

を予定していたが、各地域の地方選手権の開催が少なく選抜出来ないことから中止とした。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル M F J 共催・スポーツ庁後援・観光庁後援

6月6日/7日 世界選手権トライアル第2戦 ストライダー日本グランプリ 会場：ツインリンクもてぎ
FIM 決定にて中止となった。

② 全日本選手権

当初計画 (全7戦)		変更点	会場
第1戦 近畿	4月12日	延期	湯浅トライアルパーク
第2戦 九州	5月10日	中止	えびの市矢岳高原 TR コース
第3戦 関東	6月21日	延期	ツインリンクもてぎ
第4戦 北海道	7月12日	中止	わかさむサーキット
第5戦 中国	9月6日	中止	灰塚ダムトライアルパーク
第6戦 中部	10月11日		キョウセイドライバースランド
第7戦 東北	10月25日		スポーツランド SUGO

●調整後のスケジュール (全5戦) ※5月末現在

	日程	会場	備考
第1戦	9月27日(日)	関東 ツインリンクもてぎ	
第2戦	10月11日(日)	中部 キョウセイドライバースランド	調整中
第3戦	10月25日(日)	東北 スポーツランド SUGO	
第4戦	11月以降で検討中	近畿 湯浅トライアルパーク	検討中

③ トライアルグランドライバースランド大会

地方選手権国内日本一決定戦の全国大会を11月8日に中部・キョウセイドライバースランドにて開催

●各地域の地方選手権の開催が少なく選抜出来ないことから中止とした。

(4) 全日本スノーモビル選手権 (全5戦) ※当初計画通りに開催。開催は2020年2月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	2月9日	北海道(真狩)	第4戦	3月7日(土)	青森(いわき青少年スポーツセンター)
第2戦	2月16日	北海道(土別)	第5戦	3月8日(日)	
第3戦	2月23日	北海道(美瑛)			

(5) 全日本スーパーモト選手権

当初計画 (全7戦)		変更点	会場
第1戦	4月5日	中止	美浜(愛知)
第2戦	5月17日	中止	HSR九州(熊本)
第3戦	6月14日	中止	It's(福島)
第4戦	7月12日		弘楽園(広島)
第5戦	8月9日		SUGO(宮城)
第6戦	9月20日		名阪(奈良)
第7戦	10月18日		美浜(愛知)

●調整後のスケジュール（全5戦）※5月末現在

	日程	会場	備考
第1戦	7月11日（土）～12日（日）	中国 グリーンパルク弘楽園	
第2戦	8月8日（土）～9日（日）	東北 スポーツランド SUGO	
第3戦	9月19日（土）～20日（日）	近畿 名阪スポーツランド	
第4戦	10月17日（土）～18日（日）	中部 美浜サーキット	

(6) 全日本エンデューロ選手権

当初計画（全4戦）		変更点	会場
第1戦 中国	3月15日	開催済み	テージャスランチ（広島）
第2戦 中日本	5月30～31日	延期	アルコピアオフロードランド（岐阜）
第3戦 北海道	9月19～20日		日高（北海道）
第4戦 SUGO	11月21～22日		スポーツランド SUGO(宮城)

●調整後のスケジュール（全4戦）※5月末現在

	日程	会場	備考
第1戦	3月15日（日）	中国 テージャスランチ	開催済み
第2戦	9月19日（土）～20日（日）	北海道 日高 2days	2 Days
第3戦	10月24日（土）～25日（日）	中部 いなべモータースポーツランド	1 day
第4戦	11月21日（土）～22日（日）	東北 スポーツランド SUGO	2 Days

2. 表彰・顕彰

1) 全日本選手権ランキング表彰式（MFJ MOTO AWARDS 2020）

全日本選手権各種目のランキング上位3名ならびに海外選手権上位者等の表彰を行う

開催日：2020年12月12日（土） 場所：東京・日経ホール

※選手権の終了が遅くなり、延期等を検討中

2) MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂

選考委員会が開催出来ない為、今期の顕彰は見送ることとした。

3. 普及活動

1) MFJ ロードレースアカデミー in MOTEGI 2020

ロードレースにおける年少者育成を目的とし以下のように開催する。

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：2020年4月～9月 年間10日間

校長：坂田和人 講師：小林龍太 他トップライダー起用

年間参加（18歳以下） 使用車両：CBR250R/CBR150R 参加：8名

※6月までの日程が中止となり（10回中5回中止）今後の代替え日程または今期休止について検討中

2) MFJレディ-ストライアルプログラム 2020

女性を対象に普及と育成を目的とし以下のように開催する。

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：東日本地区：オフロードパーク白井・ツインリンクもてぎ

西日本地区：亀岡トライアルランド・灰塚ダムトライアルパーク

1回の募集定員：20名 チーフインストラクター：西村 亜弥

東日本地区：①10月31日/11月1日（白井）②11月23日（TRM）

西日本地区：①8月22日/23日（亀岡）②11月14日（灰塚ダム）

☆感染防止措置を行い縮小開催で調整中

・インストラクタースタッフの移動、スタッフ数の参加定員の縮小（20名⇒5名）

・開催数の削減（西地区は中止し）経費削減。

・感染防止策（MFJガイドライン）

【改定日程】①8月1・2日（白井）②11月14日（白井）③11月23日（TRM）

3) 親子バイク祭り

小学生以下を対象としたバイク乗車体験のスクール、ポケバイ・ミニバイクレースとの連携を目的に以下イベントを開催する。

① 3月27日(金)～29日(日) 東京モーターサイクルショーにて体験試乗会 中止

② 4月5日(日) モーターファンフェスタ FISCO 中止

③ 6月21日(日) 全日本ロードレース筑波大会にて展示 中止

※ポケバイ・ミニバイクレースには賞品協賛等で連携

4) ツーリング

風間事務所の行う日本4極ツーリングと連携し、ツーリングアプリを利用し、災害を受けた地域を訪れ、ボランティア活動や消費活動などを行った場合にポイントを与え、優秀者を表彰するなどの活動を行う予定であったが、今期は来年に向け登録システム構築に協力するに留める。

5) ジムカーナ競技会

一般ライダーが参加しやすい競技としてジムカーナを種目として確立することを目指し、今期もジムカーナ統轄団体（JAG E）と共催でジムカーナ競技を承認競技会として開催する。

① MFJ MOTOGYMKHANA GREAT SERIES ツインリンクもてぎ大会

開催日：2020年4月26日（日） 場所：ツインリンクもてぎ マルチコース ※中止となった。

② MFJ MOTOGYMKHANA GREAT SERIES トミンモーターランド大会

開催日：2020年8月23日（日） 場所：トミンモーターランド（茨城県）

③ MFJ MOTOGYMKHANA GREAT SERIES 岡山国際サーキット大会

開催日：2020年11月29日（日） 場所：岡山国際サーキット ミニコース

6) CITY TRIAL IN JAPAN2020

モーターサイクルスポーツを都市部で露出し、二輪モーターサイクルスポーツ界全体の認知向上を図ることを目的に以下競技会の開催に協力する。

※今期は全日本トライアル選手権と連動はしないが、来期は、公認ポイント、東京都内での開催を目指す。

大会名：CITY TRIAL IN JAPAN 2020

開催場所：大阪府・万博記念公園お祭り広場

開催日：2020年11月28日（土） 主催：CITYTRIALJAPAN 実行委員会

予定格式：MFJ 特別競技会（MFJ 公認競技会）参加者 全日本 IA スーパークラス

4. 代表選手派遣・認定

① アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。<日程未定>

➡ 今期派遣休止

② 国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定

★トライアル デ ナシオン 9月12日（土）～13日（日） ポルトガル Gouveia

・ モトクロス オブ ネーションズ 9月26日（土）～27日（日） フランス Ernee

★ISDE 8月31日～9月5日 イタリア

★ = 大会中止/延期の為、派遣休止 ※MXN は検討中

5. 安全・環境対策

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会・各種目委員会にて以下課題に取り組む

- 1) ロードレースコース規定に基づき競技施設の定期査察及び改修査察実施
- 2) 規定に基づく装備品（ヘルメット/レーシングスーツ）の公認
- 3) 装備の基準検討（脊髄/チェストプロテクションの規格 2021年より実施）
- 4) 装備の推奨（マウスガード推奨、今年度よりロードレース 18歳以下にエアバッグ式プロテクション装着義務化）
- 5) 熱中症・脳震盪などの対応と復帰プログラムの推進（全種目も取り組む）
- 6) 既往症や処方薬を記載するメディカルパスポートを競技会出場時に必携させ医療機関搬送の際に渡せるように用意を義務付ける。
- 7) 全日本モトクロス全戦で医療用品の配備、各加盟団体へ AED 配備指示。
- 8) 事故再発防止を主眼とする事故調査・対策の検討
- 9) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 10) モトクロス・スノーモビルを中心に観客安全対策の強化。（マニュアルに基づきネット・コースター・立ち入り禁止表示等強化）
- 11) インストラクター養成事業の実施。

- 12) 全日本選手権の運営平準化の為、各主催者の主要競技役員を集めシーズン前にセミナーを開催する。(ロードレース・モトクロス)
- 13) ドーピングコントロールの実施
全日本モトクロス・トライアルで年間各 1 回検査を実施する。
- 14) 全日本選手権のシリーズを通して一貫した判定と安全指導の為セーフティオフィサー 2 名を全戦に派遣する。(ロードレース・モトクロス) ※モトクロスの名称はレースアドバイザー
- 15) 公認・承認競技会全てを対象とする観客・関係者の賠償責任保険に加入する。

6. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟 (以下 FIM という) 、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M・FIM アジアライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣。
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) その他国際交流の促進

7. 補助金事業

1) (公財) J K A オートレース

- (1) 国内競技規則書 (12 月発行 2021 年版) 交付申請額 : 8,580,000 円
交付内定額 : 2,450,000 円
- (2) ロードレース講習会用車両の購入 (MFJ アカデミー用)
交付申請額 : 2,640,000 円
交付内定額 : 2,640,000 円

2) ドーピングコントロール助成金

日本アンチドーピング機構 (JADA) が MFJ のドーピング検査対象競技会を定め、費やした費用は日本スポーツフェアネス推進機構 (J-Fairness) から JADA に助成される為、MFJ から直接の助成金申請はない。検査は全日本モトクロス・トライアル競技会において各 1 回実施。

8. 情報発信活動

1) 広報活動

会員、メディア・販売店・一般に対し情報内容に応じて以下の媒体で発信する。

- ① ホームページを主体とし、加えて会員へメールにて情報配信
- ② 全日本ロード/モトクロスは専用 HP を活用、トライアルは MFJHP 内に PR ページおよび

TR 普及実行委員会作成（はじめましてトラアイル ホームページ）を連携。エンデューロ、スーパーモトは外部 HP とリンク

- ③ 2021年3月のモーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知を小冊子等の手段で行う。
- ④ 後半戦の主要競技会の見どころを中心にライディングリミテッド（フリーペーパー）を作成（7月発行）加盟団体・施設・用品量販店等に配布 → 今期は発行を休止
- ⑤ 広報部会活動
 - ・ 専門誌/一般メディアを対象にメールマガジンを発信し露出の拡大を図る
 - ・ 記者発表会/メディア懇談会を開催し連携を図り、告知協力を依頼する。
 - ・ 女性のモーターサイクルスポーツ参画応援サイト（Moto Ladies）継続
- ⑥ 国内競技規則書の発行（年間1回）※ J K A 補助金事業

2) プロモーション・マーケティング事業

以下項目の業務を㈱TOMOWEL Promotion に委託し、業務委託契約を結び活動を実施する。

(1) プロモーション事業

- ① 映像製作/露出（GMP 社）
 - ・ 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録し BS12 にてダイジェスト放映（毎月末土曜 21:30～22:00・番組名：tv moto ちゃんねる） 放映後ネット配信（タイトル：moto Channel）
 - ・ Web 動画配信(You Tube)[タイトル：MFJ LIVE CHANNEL]で全日本ロードレース全戦のライブ動画配信（配信後アーカイブ）を実施し、チャンネル登録者3万人を目標とする。
※今期より全日本モトクロスも全戦動画ライブ配信
前半戦中止の間2回情報発信の為、ライブ配信を実施した。
- ② BS11 での告知
BS11 のオートバイ番組「モトライズ」内で2分間のイベント告知コーナーを設け全日本トライアルの映像とともに全日本ロードレース・モトクロスの開催告知を行う（7回）。毎月第1/第3土曜日 21:30～22:00。
前半戦中止で告知取りやめ、後半戦が決定次第開始予定
- ③ オフィシャルホームページ等広報（YUP 社）
 - ・ オフィシャルホームページ「Superbike.jp」にて情報発信
 - ・ メルマガ配信・写真等素材提供
 - ・ 2021 東京モーターサイクルショーでの PR 活動（展示コーナー/ステージ）
 - ・ 2021 シリーズ概要パンフ・プロモーション映像等の製作
- ④ ファンクラブの運営（ライディングハート社）
前半戦が中止となり、年間パスの販売は中止した。

(2) MFJ 会員へのメリット供与

- ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供
キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide, パークアップ

(3) プロモーター的組織の研究

全日本選手権ロードレース・モトクロスの興行的要素を高める為、既存プロモーション事業に関して、外部運営組織を設けることについて検討する。

年初にシリーズスポンサー活動を行ったがコロナ禍で実現できず、今後に向け検討を継続する。

9. 組織

1) 地域組織

- (1) 加盟団体の業務委託形態と内容について日本二普協と協議。
- (2) 全日本選手権等主要イベントの集客向上
- (3) MFJ ネットワークショップ加入促進活動。
- (4) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的に行う。

2) 中央組織

- (1) 中央スポーツ委員会の方針に基づき、各委員会・部会を進行する。

10. 会員登録・公認事業

1) 会員登録事業

- ・ 個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB申請・郵送申請）
- ・ 特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

2) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

3) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認。必要に応じて査察を実施する。

11. サービス事業（競技運営用備品・用品の販売等）

- ・ 主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・ 公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認マークを販売する。
- ・ 規定に基づき、参加者の昇格申請、希望競技番号を管理する。

12. その他事業

(1) 諸会議の開催

MFJのスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

- ・ 理事会（6月/12月/3月）・評議員会（3月/6月）加盟団体会議（12月）
- ・ 中央スポーツ委員会・専門委員会・技術委員会・各種部会

(2) スポーツ安全保険

- ・ 会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・ 受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。

(3) 競技会管理システムの開発・運用

- ・開催報告・ポイント管理・昇格ポイント管理等のシステムを完了し運用する。
- (4) 公益目的支出計画の完了
2020年6月で完了し、手続きを行う。
- (5) MFJ ホームページのリニューアル
 - ・ MFJ ホームページのリニューアル並びにスマートフォン対応に着手する。
- (6) 競技会の運営体制維持の為、競技役員役務を一定の範囲で競技役員ライセンス所持者以外も担える制度を実施する。

以上